

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 6 月 6 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究（S）

研究期間：2007～2012

課題番号：19102001

研究課題名（和文） 美術に即した文化的・国家的自己同一性の追求・形成の研究  
—全アジアから全世界へ研究課題名（英文） Research on Pursuit and Formation of Cultural and National Identity  
Constructed in Figurative Arts—from All of Asia Regions to the Entire World

## 研究代表者

小川 裕充（OGAWA HIROMITSU）

東京大学・東洋文化研究所・教授

研究者番号：50126017

研究成果の概要（和文）：2013年3月に東京大学出版会より刊行された『中国絵画総合図録三編』第1巻がその成果に当たり、科学研究費補助金基盤研究（S）の助成を受けて、2007年・2009年にニューヨークのメトロポリタン美術館、カナダのグレーター・ヴィクトリア美術館など米加両国の美術館35館の調査旅行を実施し、収集し得た米加両国所在中国絵画写真資料に基づく。

研究成果の概要（英文）：The compilation of my research is the first volume of "Comprehensive Illustrated Catalogue of Chinese Paintings, Third Series" published by the University of Tokyo Press in March of 2013. The study has been based on the photograph materials of Chinese paintings located in the U.S. and Canada, which I conducted research trip and collected from 35 museums in each location of the U.S. and Canada, such as the Art Gallery of Greater Victoria in Canada, supported by the Sciences Research Grant (S) of Grant-in Aid for Scientific Research (KAKENHI).

## 交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	29,700,000	8,910,000	38,610,000
2008年度	22,900,000	6,870,000	29,770,000
2009年度	12,600,000	3,780,000	16,380,000
2010年度	7,000,000	2,100,000	9,100,000
2011年度	10,000,000	3,000,000	13,000,000
総計	82,200,000	24,660,000	106,860,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：哲学、美学・美術史

キーワード：日本・東洋美術史

## 1. 研究開始当初の背景

中国絵画研究の方法論的基盤を築くこと

## 2. 研究の目的

中国絵画研究を世界的に広めること

## 3. 研究の方法

東京大学東洋文化研究所・東アジア美術研究室では、初代教授以来、四代半世紀に亘って世界中の公私の中国絵画コレクションの調査撮影を行い、1を具体的に実現している。

## 調査期間

(1) 2007年10月3日～同年12月23日までに行なった第三回アメリカ・カナダ調査では、  
A60 : クロウ・コレクション、  
A61 : インディアナ大学美術館  
A62 : デイトン美術館  
A3 : シカゴ美術館  
A12 : エール大学ギャラリー  
A16 : プリンストン大学美術館  
A22 : クリーヴランド美術館  
A24 : シンシナティ美術館  
A25 : インディアナポリス美術館  
A30 : カリフォルニア大学バークレー美術館  
A35 : サンフランシスコ・アジア美術館  
A38 : ホノルル美術館  
A49 : サンディエゴ美術館  
A50 : 蝸居齋コレクション  
A53 : 曹仲英コレクション  
A54 : グレーター・ビクトリア・ギャラリー  
A55 : シアトル美術館

以上、17の公私のコレクションの調査撮影を行った。

(2) 2009年10月21日～同年11月23日までに行なった第四回アメリカ・カナダ調査では、  
A1 : メトロポリタン美術館  
一館のみの調査撮影を行った。

## (実施予定変更の経緯)

2010年度・2011年度は、予定していたロンドン自然史博物館の調査撮影が先方の拒否により実施不可能となった。

ロンドン自然史博物館側は一旦許可した調査撮影の実施を拒み、代わりに博物館所蔵作品の焼き付け写真実費購入を提案してきた。検討の結果、仕方なく博物館所蔵作品の焼き付け写真実費購入を申し入れ、博物館側の了解を得たものの、焼き付け写真が送られて来ない状況になった。

そこで2009年10月21日～同年11月23日まで、急遽、第四回アメリカ・カナダ調査・撮影を実施し、撮影できた中国絵画作品の目録と図版を収載して、次の4. 研究成果で触れるとおり、2013年3月に『中国絵画総合図録三編』第一巻を刊行することができた。

## 4. 研究成果

編者名 : 小川裕充、板倉聖哲  
出版社名 : 東京大学出版会  
書名 : 『中国絵画総合図録三編』第一巻  
発行年 : 2013年  
総ページ数 : 384頁

2007年10月3日～同年12月23日までに行なった第三回アメリカ・カナダ調査、2009年

10月21日～同年11月23日までに行なった第四回アメリカ・カナダ調査を行った。

その成果は、上記に挙げた『中国絵画総合図録三編』第一巻である。現時点では、第一巻が刊行されたのみであるが、2013年3月で定年退官した小川の後継者である板倉教授が続巻全巻を編集・刊行する予定である。

『中国絵画総合図録初編・続編・三編』は、逐次刊行され、全世界の中国絵画研究者必携の工具書として高い評価を得ている。

『中国絵画総合図録』に倣った図録が、『中国古代書画図目』として中国の文物出版社から刊行されている。

『中国絵画総合図録』は、初編・続篇・三編からなる。

そのうち、1975年10月10日～同年12月26日までに行われた第一回アメリカ・カナダ調査・撮影に基づいて、編集・刊行された『中国絵画総合図録初編』第一巻に目録・図版がともに掲載されたのは、

A1 : メトロポリタン美術館  
A2 : シカゴ大学スマート・ギャラリー  
A3 : シカゴ美術館  
A4A5 : ミシガン大学美術館  
A7 : トレド美術館  
A8 : フィンレイソン・コレクション  
A9 : ロイヤル・オンタリオ美術館  
A10 : ハーバード大学フォッグ美術館  
A11 : レーア・コレクション  
A12 : エール大学ギャラリー  
A13 : 翁萬戈コレクション  
A14 : 明德堂コレクション  
A15 : クロフォード・コレクション  
A16 : プリンストン大学美術館  
A17 : エリオット・コレクション  
A18 : 個人コレクションズ  
A19 : 旧王方宇コレクション  
A20 : フ申コレクション  
A21 : フリーア・ギャラリー  
A22 : クリーヴランド美術館  
A23 : ペリー・コレクション  
A24 : シンシナティ美術館  
A25 : インディアナポリス美術館  
A26 : 呉納孫コレクション  
A27 : セント・ルイス美術館  
A28 : ネルソン・ギャラリー＝アトキンス美術館  
A29 : 旧黄君實コレクション  
A30 : カリフォルニア大学美術館・バークレー  
A31 : 景元齋コレクション  
A32 : シュレンカー・コレクション  
A33 : 旧ウイリス・コレクション  
A34 : 旧ゲンスレン・コレクション

A35：サンフランシスコ・アジア美術館  
A36：スタンフォード大学美術館  
A37：個人コレクション  
A38：ホノルル美術館  
以上、38の公私コレクションである。

続いて、初編第二巻に目録・図版がともに掲載されたのは、1977年12月1日～同年12月20日までに行われた第一回東南アジア調査・撮影、及び1979年4月2日～同年5月26日までに行われた第一回ヨーロッパ調査・撮影による写真資料に基づく。

そのうち東南アジア調査は、

S1：後真賞斎コレクション  
S2：張建安コレクション  
S3：張添根コレクション  
S4：蘭千山館コレクション  
S5：国泰美術館  
S6：ルー・コレクション（シンガポール）  
S7：北山堂コレクション（香港）  
S8：至樂樓コレクション（香港）  
S9：カク宝材コレクション（香港）  
S10：王南屏コレクション（香港）  
S11：カ梅土博物院（マカオ）  
S12：徐伯郊コレクション（香港）  
S13：黄仲方コレクション（香港）  
S14：香港大学フー平山博物館  
S15：趙ファウンデーション（香港）  
S16：莊申コレクション（香港）  
S17：香港中文大学中国文化研究所博物館  
S18：葉義コレクション（香港）  
S19：葉承耀コレクション（香港）  
S20：招署東コレクション（香港）  
以上、20の公私コレクションである。

そのうちヨーロッパ調査は、

E1：国立東洋美術館（ローマ）  
E2：バルビーノ・コレクション  
（ローマ国立東洋美術館寄託）  
E3：ジオソディ・コレクション  
（ローマ国立東洋美術館寄託）  
E4：プリアッティ・コレクション  
（ローマ国立東洋美術館寄託）  
E5：ヴィラ・イ・タッティ（フィレンツェ）  
E6：パルマ中国美術館  
E7：チューリッヒ・リートベルク美術館  
E8：ホリガー＝ハスラー・コレクション  
（チューリッヒ・リートベルク美術館寄託）  
E9：フリッシュェ・コレクション  
（チューリッヒ・リートベルク美術館寄託）  
E10：個人コレクション  
（チューリッヒ・リートベルク美術館寄託）  
E11：国立民族学博物館（ミュンヘン）

E12：プレトリウス・コレクション（ミュンヘン）  
E13：ギメ美術館（パリ）  
E14：チェルヌスキー美術館（パリ）  
E15：大英博物館（ロンドン）  
E16：ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館（ロンドン）  
E17：東アジア美術館（ケルン）  
E18：東アジア美術館（ベルリン）  
E19：個人コレクション（ベルリン・東アジア美術館寄託）  
E20：東アジア美術館（ストックホルム）  
E21：エリクソン・コレクション  
（ストックホルム・東アジア美術館寄託）  
E22：プラハ国立美術館附属ナーブルストゥコヴォ美術館  
以上、22の公私コレクションである。

『中国絵画総合図録』は、中国絵画研究に必要な作品の焼き付け写真を取得するための索引の役割も果たしている。

研究者として独り立ちした人には必要な作品の焼き付け写真入手が容易ではあっても、学生にはその入手が甚だ困難である。そのため、取得したい焼き付け写真がある場合、東京大学・東洋文化研究所・東アジア美術研究室に収蔵されている4インチx5インチの白黒フィルムによる焼き付け写真を作成実費のみの費用で入手できるようにし、中国絵画研究の一助となっている。

その担当は、東京大学・東洋文化研究所の中国絵画調査撮影を一手に引き受けている技術職員野久保雅嗣氏であり、他大学の学生や院生であっても、指導教官の推薦状があれば、所定の手続きを行うことによって、希望する焼き付け写真を実費で購入することができる。

このようなことは、東アジア美術研究室に中国絵画写真アーカイヴを築き上げた二代教授鈴木敬の意向により、学生にも、教官にも平等に焼き付け写真を入手可能にし、容易に研究を行うことができるように計らわれている。

此のシステムにより中国絵画研究の発展に大きく寄与している。

## 5. 主な発表論文等

〔論文〕（計 3件）

①小川 裕充、「東アジア美術史の可能性」、『美術史論叢』、東京大学大学院人文社会系研究科・文学部美術史研究室、査読無、27、2011、21-50頁

②小川 裕充、「中国山水画の透視遠近法—燕文貴のそのの成立まで」、『美術史論叢』、東京大学大学院人文社会系研究科・文

学部美術史研究室、査読無、26、2010、37-59  
頁

③小川 裕充、「研究ノート 宋代の用絹法  
について—両宋歴代皇帝坐像を中心に」、『美  
術史論叢』、東京大学大学院人文社会系研究  
科・文学部美術史研究室、査読無、24、2008、  
73-80 頁

〔図書〕(計 1 件)

①小川裕充、板倉聖哲、『中国絵画総合図録  
三編』、東京大学出版会、第一巻、2013、384  
頁

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

小川 裕充 (OGAWA HIROMITSU)  
東京大学・東洋文化研究所・教授  
研究者番号：50126017

### (2) 研究分担者

榎屋 友子 (MASUYA TOMOKO)  
東京大学・東洋文化研究所・教授  
研究者番号：40300735

朴 亨國 (PARK HYOUNGGOOK)  
武蔵野美術大学・造形学部・教授  
研究者番号：00350249

呉 孟晋 (KURE MOTOYUKI)  
独立行政法人国立文化財機構 京都国立博  
物館・学芸課・研究員  
研究者番号：50567922

大田 省一 (OTA SHOICHI)  
京都工芸繊維大学・文化遺産教育研究セン  
ター・特任准教授  
研究者番号：60343117

深見 奈緒子 (FUKAMI NAOKO)  
早稲田大学・イスラーム地域研究機構・上  
級研究員  
研究者番号：70424223

### (3) 連携研究者

板倉 聖哲 (ITAKURA MASAACKI)  
東京大学・東洋文化研究所・教授  
研究者番号：00242074

西上 実 (NISHIGAMI MINORU)  
独立行政法人国立文化財機構京都国立博  
物館・学芸部・部長  
研究者番号：40142632

後小路 雅弘 (USHIROSHOJI MASAHIRO)  
九州大学・人文科学研究院・教授  
研究者番号：50359931

井手 誠之輔 (IDE SEINOSUKE)  
九州大学・人文科学研究院・教授  
研究者番号：30168330

田中 秀隆 (TANAKA HIDETAKA)  
財団法人徳川黎明会・徳川美術館・非常勤  
研究員  
研究者番号：40414081

浅井 和春 (ASAI KAZUHARU)  
青山学院大学・文学部・教授  
研究者番号：60132700

秋山 光文 (AKIYAMA TERUFUMI)  
お茶の水女子大学・大学院人間文化創成科  
学研究科・教授  
研究者番号：60130861

羽田 正 (HANEDA MASASHI)  
東京大学・東洋文化研究所・教授  
研究者番号：40183090

### (4) 研究協力者

野久保 雅嗣 (NOKUBO MASATSUGU)  
東京大学・東洋文化研究所・技術職員

矢野 明子 (YANO AKIKO)  
ロンドン大学アジア・アフリカ研究所  
リサーチ・アソシエイト

黄 立芸 (HUANG LIYUN)  
東京大学・人文社会系研究科・大学院生

藤田 伸也 (FUJITA SHINYA)  
三重大学・人文学部・教授

田中 英二 (TANAKA EIJI)  
インディペンデント・キュレーター

クリスティン E ロリング (KRISTEN  
E. LORING)  
カリフォルニア大学ロスアンゼルス校・  
美術史・大学院生

チェルシー フォクスウエル (CHELSEA  
FOXWELL)  
コロンビア大学・美術史学・考古学・大学  
院生

何 穎佳 (HE YINGJIA)  
スタンフォード大学・美術及び美術史学・  
大学院生